Ⅱ．海外経済

		9月	10月
世界経済		世界の景気は、減速の動きが広がっており、弱い回復となっている。 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、各種政策の効果が次第に発現することが期待される。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。また、このところの一次産品価格の動向に留意する必要がある。	世界の景気は、減速の動きが広がっており、弱い回復となっている。 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、各種政策の効果が次第に発現することが期待される。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。また、一次産品価格の動向に留意する必要がある。
アメリカ		アメリカでは、景気は弱めの回復テンポが続いている。 先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。ただし、雇用環境や住宅市場の改善の遅れ等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。	アメリカでは、景気は弱めの回復テンポが続いている。 先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。ただし、雇用環境や住宅市場の改善の遅れ等により、景気が下振れするリスクがある。また、いわゆる「財政の崖」を含む財政緊縮の影響に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気の拡大テンポがやや鈍化している。 先行きについては、各種政策効果もあり、緩やかな拡大傾向となることが見込まれる。ただし、輸出や不動産価格の動向に留意する必要がある。	中国では、景気の拡大テンポがやや鈍化している。 先行きについては、不確実性が高いものの、各種政策効果もあり、緩やかな拡大傾向となることが見込まれる。ただし、輸出や不動産価格の動向に留意する必要がある。
	インド	インドでは、景気の拡大テンポは弱まっている。 先行きについては、当面、低めの成長となることが見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。	（変更なし）
	その他アジア地域	その他アジア地域では、景気は足踏み状態となっている。 先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。	（変更なし）
ヨーロッパ地域		ヨーロッパ地域では、景気はこのところ弱含んでいる。ドイツではこのところ持ち直しの動きが緩やかになっている。 先行きについては、弱い動きとなることが懸念される。また、一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。	ヨーロッパ地域では、景気はこのところ弱含んでいる。ドイツでは緩やかな持ち直しの動きが続いている。 先行きについては、当面、弱い動きとなることが見込まれる。また、一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。